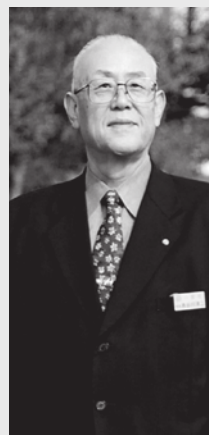


元八雲町長 長谷川洋二氏逝去

町内外から人柄と功績を偲ぶ声



去る4月27日、元八雲町長長谷川洋二氏が84歳で逝去されました。長谷川氏の葬儀は4月30日通夜、5月1日告別式が多数の参列者のもと、しめやかに執り行われました。

長谷川氏は、昭和23年に国家公務員として郵便局に奉職され、昭和62年に町議会議員に当選した後、平成7年5月に旧八雲町の8代町長として2期8年間務められました。

町長就任の8年間は、町の発展の基礎は一次産業の振興にあるとの基本理念のもと経営基盤の強化に力を注ぎ、公共上下水道事業なども強く推進するとともに、北渡島檜山の地域センター病院として地域住民に大きな役割を果たしている八雲総合病院の整備や、町民の健康管理や高齢者の生きがいづくりの拠点である八雲町総合保健福祉施設シルバープラザのほか、町民スキー場の建設にも

尽力され、噴火湾パノラマパークの誘致など数多くの施策を手がけられ、住民福祉の向上と産業経済の発展など行政全般にわたり、手腕を發揮し八雲町発展に多大な貢献をされました。

告別式では、岩村町長らが、故人を偲んで弔辞を読み上げるとともに、追悼の言葉を述べ、ご遺族をはじめ、参列者一人ひとりが焼香し、ご冥福を祈りました。

【委員会歴】

- ・ 昭和48年5月 八雲町文化財調査委員会委員
 - ・ 昭和59年11月 八雲町総合開発委員会委員
 - ・ 昭和62年5月 八雲町議会文教厚生常任委員会委員
 - ・ 八雲町議会文庫運営委員会委員
 - ・ 八雲町営住宅入居者選考委員会委員
 - ・ 八雲町青少年問題協議会委員
 - ・ 平成元年3月 八雲町議会文教厚生常任委員会副委員長
 - ・ 平成3年5月 八雲町議会産業建設常任委員会委員
 - ・ 平成5年7月 八雲町乳牛育成牧場運営協議会委員
- 【表彰歴】
- ・ 昭和53年4月 郵政大臣表彰（永年勤続功労）
 - ・ 平成26年4月 旭日双光章（地方自治功労）

「まちづくり」「地域活性化」を行います 地域おこし協力隊が着任しました



さとうゆうき
佐藤佑樹（31歳）

生まれも育ちも八雲町でこのたび地元地域活性化に貢献したいと考え、長年住んでいた札幌を離れ八雲町に戻ってきました。現在商店街にある空き店舗を活用し今後町民の皆様にご利用していただけるような空間づくりを目指しております。また、地域のイベントなどにも積極的に参加し、少しでも盛り上げていけたらと考えておりますのでよろしくお願ひ致します。



おおのひとせ
大野仁世（26歳）

出身で、札幌からUターンという形で戻ってきました。それでも、まだ八雲町に関して知らないこともたくさんあり、八雲町の魅力を再発見するところから始めています。小さなことでも、見逃さず拾っていく、八雲町の魅力を地域外の方に積極的に発信していこうと思ひます。地域活性化という目的を少しずつでもできるよう尽力していきます。



わたなべじょうた
渡辺成太（26歳）

東京から地域活性化に携わりたく、協力隊として八雲町に来た渡辺です。東京で感じたことや思った事を地域活性化へ繋げられればと思ひます。地方の魅力は人と人との関わり合いが深いこと。色々なイベントに顔を出し、人との繋がりを大切にしていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。



さとうやすし
佐藤 靖（40歳）

4月からファイターズ新球場で揺れ動く札幌の隣町、北広島市から来ました。応募のきっかけは、札幌駅で観光ボランティアの活動をしていて札幌市の人口の一極集中化を、ひしひしと感じ地方を気づけたかったので、その時に八雲町地域おこし協力隊の募集をインターネットで見つけ応募しました。やってみたい事は八雲町は知られていない魅力が沢山眠っている、その魅力を探し出し、皆さんに広め八雲町の地域活性化に努めたいです。また八雲町のみならず北海道の魅力を伝えられるようになりたいです。